

平成26年1月29日

日清製粉グループ 第3四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

当第3四半期連結累計期間は売上高3,699億92百万円、経常利益205億28百万円。

[平成26年3月期第3四半期連結累計期間決算]

(株)日清製粉グループ本社(社長 大枝 宏之)の平成26年3月期第3四半期連結累計期間につきましては、経済・金融政策による円安・株高を背景に企業業績や個人消費の持ち直し等、一部に景気回復の動きが見られましたが、消費者の低価格志向は根強く、また円安により輸入原材料価格や電力コストが上昇するなど、当社を取り巻く環境は依然として厳しいものとなりました。このような中、当社はトップライン(売上高)の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」の取組みを加速し、各事業において積極的な販売促進施策を推進しました。海外展開においても、M&Aにより取得した子会社の連結効果に加え、各社で積極的な出荷拡大施策を進めたことにより、海外売上高比率は10%を超え、海外事業は順調に拡大しております。また、東南アジアでの一層の事業拡大に向け、タイ日清テクノミック(株)での業務用プレミックス生産能力の25%増強、及びVietnam Nisshin Seifun Co.,Ltd.の調理加工食品工場の建設を同時並行で進めています。なお、輸入小麦の政府売渡価格が、昨年4月に5銘柄平均で9.7%引き上げられ、10月に同4.1%引き上げられたことを受けて、製品価格の改定を実施しました。

これらの結果、売上高は製粉事業及び食品事業の出荷増や海外事業の拡大等により3,699億92百万円(前年同期比108.1%)となりました。利益面では、出荷増及び全社的なコスト削減の取組みに加え、製粉事業においてふすま価格が堅調に推移したことにより、営業利益は178億3百万円(前年同期比103.8%)、経常利益は205億28百万円(前年同期比103.6%)、四半期純利益は123億円(前年同期比102.5%)となり、第3四半期連結累計期間の業績は増収増益となりました。

なお、平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。平成26年3月期期末配当予想につきましては、株式分割に伴う1株当たりの配当金の調整は行わないため、実質増配となる予定です。また、同日付で単元株式数を500株から100株に変更しました。

[平成26年3月期通期連結業績予想]

我が国の経済は、デフレ脱却と経済再生に向けた政策効果等を背景に、景気回復に向けた明るい兆しもみられますが、一方で、本年4月からの消費増税による消費減退懸念や、円安を背景とした輸入原材料価格の上昇等、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しいことが予想されます。このような状況におきましても、当社は各事業において安全・安心な製品を安定的に供給するとともに、トップライン(売上高)の拡大と海外事業の拡大に向けて中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」で策定した戦略施策を積極的に実行してまいります。

以上の結果、平成26年3月期の業績見通しにつきましては、当初の予想を据え置き、売上高は4,900億円(前期比107.6%)、営業利益は237億円(前期比109.0%)、経常利益は263億円(前期比106.3%)、当期純利益は160億円(前期比116.9%)としております。

以上